

しのばず自然観察会より 2023-11 2023.11.06

2023年10月15日の不忍池定点観察会は、午前中雨のため中止しました。

2023年11月の活動 不忍池 定点観察 11月12日(日)



集合：午前10時 不忍池 蓮池南西端
緑の小旗あり（野外ステージ西側、
湯島天神下交差点寄り）

今回は雨天中止

持物：筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具
(マスク、敷物、昼食)

解散は午後1時頃ポート池畔または藤棚
参加費不要 非会員の参加も歓迎

冬鳥のカモ類やカモメ類が飛来し始めました。ハスが繁茂して水面のカモが見つげにくい蓮池や動物園池に代わって、ポート池のカモが目安になっています。11月1日現在、キンクロハジロ44+, オナガガモ26+, マガモ2, カルガモ複数、ユリカモメ2が確認できました。

この時期は、生殖羽に換羽しきっていないために雌雄の識別に悩まされるカモの個体が目立ちます。下の写真はマガモ。写真①では右側に換羽済の雄。左側に換羽中らしい個体。写真②はこの換羽中個体のアップ。換羽前のうろこ状の模様が残りますが、肩にグレーの羽毛があり、胸が茶色で目の横に緑の筋（構造色）が見えるので雄。マガモ成鳥よりからだが大きく翼が小さめなので、アヒルとの混血（合鴨）の可能性も。マガモもアヒルも同じ種で、アヒルは広義のマガモの中の一タイプです。



写真①



写真②

2023年10月19日の不忍池

小川千恵子

10月15日の観察会が大雨で中止。1月に上野動物園の年間パスポートを作ったのに一度も行っていないのと、不忍池のボート池北側の70~80cmもあったメヒシバのその後を見ようと、曲尺を持って

19日に動物園へ。

いつものバス停10時少し前。ボート池北側のひっくり返したボートの上でいたいた！オナガガモが10羽。首を丸めて寝ているよう。長旅の疲れを癒してる？

メヒシバはジュズダマと一緒に見事に刈られてしまった。残念！それでも10~20cmの細い葉が伸びていた。

ここで発見。公園事務所名で禁煙の張り紙が2枚。大歓迎。効果を願う。

弁天堂南の大藤棚の手すりの南の植え込みの中に金物の棒を組み合わせて棚のような物を作っている人達2人。何を作っているのか尋ねると、台を作っている、と。何の台？ときくと、ライトアップする為のライトをのせる台らしい、と。どこをライトアップ？ときくと弁天堂じゃないか、と。続けて、詳しくはわからない、自分たちは台を作るのを頼まれただけだから、と。台を作っている所は寛永寺の土地ではなく、公園地、公園事務所が許可？ライトアップはせっかく飛来する渡り鳥への影響は？何時から？何時まで照らす？次々と疑問がわく。

大藤棚を出るところにもう一つの棚。そばに大きな台車に何やらおせて、話している大きな外国人の男女。この人たちが企画か？直に何も問えないのが残念。

ついでに動物園のこと。

双子のパンダを余り並ばずに見たければ、雨あがりの午後か、弁天堂に9時半開門まえから並ぶのが一番。弁天堂と正門の開門は9時半、池之端門は10時。今の見どころは、アジアゾウの3歳の男の子アルン、ゴリラの1歳半の女の子スモモ。ミナミアリクイ、アビシニアコロブス、アイアイにも仔が見られる。

2023年12月は10日(不忍池定点観察会)、24日定例水鳥調査を仮予定。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円

2022年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ

